

第50号

令和2年7月1日 発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

今年度も活動開始しました
ぜひぜひのご協力をお願いします

四月十六日、豊津地区まちづくり委員会の令和二年度総会を開催しました。

例年ですと、新しい区長・副区長や町代(常会長)、地域実践家など多くの方々が集まり、前年度の事業報告や決算報告、今年度の事業計画(案)と予算(案)などを審議するところですが、密室・密集・密接の『三密』を回避するため、緊急特例的に前年度の役員で実施しました。

その結果、すべての報告・議案を承認、可決していただきました。また、専門部の名称変更も議案としてあがり、「スポーツ健康づくり専門部」が「健康づくり専門部」に、「広報記録専門部」が「情報発信専門部」に変更されました。

総会開催時点で、具体的な事業の内容・日程が全く決まらない状況でしたが、一日も早く平時に戻り、これまでのようにみんなで楽しく豊津地区の活性化が図られることを願ってやみません。

どうぞ、今年度も地域活動にご理解ご協力をお願いします。



新型コロナウイルスに負けるな

豊津地区まちづくり委員会委員長 和田 勉

皆さん、こんにちは。お変わりありませんか？新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度のまちづくり委員会事業も大幅な変更を余儀なくされています。

そのような中、大阪府知事が七月からワクチンの治験を行うと発表。国もワクチン開発、備蓄、接種を進めていくとの報道がされました。私たちは、根本的解決をするには『元を絶たなきゃ駄目』と教えられてきました。これが、その挑戦、そして新型コロナウイルスとの共生の始まりになると期待しています。

私たち一人ひとりの行動自粛で、新型コロナウイルスの感染まん延を抑えてきました。コロナ禍が収束し、一日も早く皆さんと地域活動が再開できることを願っています。そして、来年にはここ鹿嶋で東京オリンピックのサッカー観戦者を、温かくお迎えしましょう。

今年度もよろしく願います

豊津まちづくりセンター長 沢畑 好一

日頃より公民館及びまちづくり事業にご協力いただきありがとうございます。今年度も、地域の活性化を目標に掲げ、各事業が有意義に進められるように、各専門部と協力して新たな事業を計画し、皆さんのサポートに努めてまいります。なお、3月末で退職した藤城主事に代わり、6月から新たに石田主事が加わりましたので、これまで同様、どうぞよろしく願います。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、しばらくの間はこれまで通りに施設利用をおこなうことができませんが、おかけすることになりませんが、何卒ご理解ご協力をお願いします。



▲ 本年度の職員(左から)
(後) 笹本・遠藤・大川
(前) 石田・沢畑・黒須

令和2年度 まちづくり委員会事業

Table with 2 columns: <委員会> and <地域環境専門部>. Rows list various activities like '役員会', '環境美化運動', 'とよつまつり', '豊津の未来を考える', '防災避難訓練', 'コミュニティプラン作り', '文化福祉専門部', 'とよつキッズ', '田んぼ体験', 'とよつかるた大会', '楽学セミナー', '豊津デジカメ', '男の料理教室'. The second column lists activities under '健康づくり専門部' and '情報発信専門部'.

*上記の事業は、年度当初の総会資料から転記したものです。 *日程等は6月13日現在の判断
*新型コロナウイルス感染症の影響により、市の事業や学校の行事予定が例年と変わっています。その関連で、今後もまちづくり委員会事業の変更もありえますので、ご了承ください。
*事業の実施が決定しましたら、かわら版「そよかぜ」で、随時、案内をしていきます。その際は多くの方のご参加をお願いします！

今年度の区長をご紹介します

(写真後列・左から)

- 大船津第1区 濱田善久さん
大船津第3区 坂本次雄さん
大船津新田区 宮崎比呂志さん

(写真前列・左から)

- 爪木区 小沼信夫さん
大船津第2区 青野重寿さん



皆さん、1年間どうぞよろしくお願ひします。

平成十六年度に第一号を発行してから、今号が一区切りとなる第五〇号となります。記念コラムを予定していましたが、全国的に新型コロナウイルス感染症拡大予防の徹底がされ、各種事業が実施できなかったことから、通常の半分の紙面とし、コラムも割愛しました。コロナ禍が収束し事業再開となれば、次号から更に紙面を充実させて皆さんにお伝えします。

第五〇号発行

今年度二つの専門部の名称が変更になりました。これまでの「スポーツ健康づくり専門部」は、地域の高齢化に伴い、スポーツ性から健康を主眼とした健康づくりに移行している現状から、「健康づくり専門部」へ。また「広報記録専門部」は、地域の広報紙「とよつだより」以外に、フェイスブックやツイッタラ等インターネットを活用した電子媒体でも情報発信を行っていることから、より実態に近いイメージのある「情報発信専門部」へそれぞれ名称を変更しました。今後ますます内容を充実するための名称変更です。皆さん引き続きよろしくお願ひします。

令和二年度から健康づくり情報発信専門部へ